平成29年度 施政方針

◆はじめに

本年は酉年であります。

12年前の酉年である平成17年、市民協働のまちづくりを明文化した『知立市まちづくり基本条例』が、全国に先駆けて制定されました。

その前文には、次のように謳われています。

『私たちは、先人が築いた地域資源や文化を引き継ぎ、より暮らしやすくするとともに、豊かで潤いのある未来を次の世代へ繋げるために、ともに力をあわせていかなければなりません。そのためには、市民が、市民の手で、市民の責任で主体的にまちづくりに取り組むことが大切です…』

知立に住む、知立に集う、全ての方々が、それぞれのお立場で、市民が、市民の手で、より良い自分の家庭をつくるように主体的にまちづくりに携わっていただく、『自助・共助・公助が息づく協働のまち』とすることで、第6次知立市総合計画が目指す『輝くまち　みんなの知立』になっていくものと確信をしております。

知立市長　林 郁夫

■市民参加のまちづくり

昨年暮れ、「知立の山車文楽とからくり」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

また、現在、高齢者サロンが市内20か所で開設され、いずれも地域の皆様方が中心となって行っていただいております。毎朝のラジオ体操も、市民有志が公園などを活用され、8か所で行われるようになりました。

防犯パトロールや環境ボランティア、子どもたちの登下校におけるスクールガード、公園や道路の愛護会の皆様など、様々な分野で、より住み良い知立市のためにご尽力いただいております。

■安全で安心できるまちづくり

犯罪を無くすため、毎日の日中・夜間の防犯パトロールや防犯灯の増設、防犯カメラの公共施設への設置や民間駐車場への設置補助などを引き続き行ってまいります。

また、交通事故撲滅に関する啓発活動を引き続き行う他、高齢者の運転免許証の自主返納事業の周知・促進と75歳以上の人のミニバス運賃無料化を実施し、高齢者ドライバーによる交通事故防止を図ります。

防災対策については、引き続き東日本大震災の被災地への職員派遣などの支援を行う他、業務継続計画（BCP）をもとに、今後、各機関との連携をより強化します。

■子育て支援に関しての取組み

昨年、少人数学級を小学校6年生まで拡大しました。子どもサポート教員を小中学校全校に配置する他、来迎寺小学校区の児童クラブ・放課後子ども教室の建設事業を実施します。

また、産後ケア事業や母子保健支援相談員の配置など、にじいろニコニコ事業に着実に取り組み、「子どもを生み、育てるならば知立」と多くの方に感じていただける環境づくりを行います。

■福祉への取組み

新たに、障がい者相談員を増員するとともに、引き続き、成年後見制度を周知してまいります。

高齢社会に向けての取組みとしては、本年4月より、介護予防・日常生活支援総合事業が始まります。認知症サポーター養成講座の普及促進や、地域でのサロン事業をより一層拡大し、充実を図ります。

また、昭和地区のより良いコミュニティづくりを目的とした昭和未来会議を引き続き実施してまいります。

その他、生活困窮者自立支援事業にも取り組み、生活困窮世帯を対象とした子どもの学習支援を行います。

■環境に関しての取組み

一昨年、岡崎市、豊田市、安城市、みよし市の各市長様と共に、首長誓約を取り交わし、本年3月12日に『5市からはじめる！シン・エコアクション』と題したシンポジウムを開催しました。

引き続き、太陽光・太陽熱発電設備設置補助、家庭用エネルギー管理システムや家庭用燃料電池、蓄電池などへの補助制度を行います。

また、本年度、新たに電気自動車や燃料電池車など次世代自動車への補助を追加し、公用車にプラグインハイブリッド車を購入するなど、本年1月に設置しました電気自動車充電スタンドと共に、その普及促進を図ります。

■健康に関しての取組み

妊産婦・乳児健診事業、がん検診事業、インフルエンザ予防接種事業、高齢者肺炎球菌ワクチン接種事業、糖尿病重症化プログラム事業等を引き続き行っていく他、健康推進の更なる促進のために、健康マイレージ事業の普及促進に努めてまいります。

また、各種スポーツ教室の開催や高齢者スポーツへの支援など、スポーツに親しんでいただける環境づくりに努めます。

■まちの活力づくり

知立駅周辺整備の事業効果が、知立市内全域に最大限波及されていくよう、活力づくり、賑わいづくりを実施し、定住人口・交流人口をより増大させ、経済効果・税収効果を最大限に発揮させるべく、丁寧に、着実に進めます。

また、中小企業振興条例に基づく、各種商工事業者への支援の他、愛知県と協力し中小企業再投資促進補助事業を引き続き推進してまいります。

昨年の「知立の山車文楽とからくり」のユネスコ無形文化遺産登録日（12月1日）が、知立市制施行と同日であることから、その頃に記念事業などが開催できればと考えています。

本年、観光案内所や休憩所、土産物販売所等の機能を併せ持つ観光の拠点となる施設の整備を考えており、観光・産業振興が計画的・機動的に図られていくよう努めてまいります。

■より効率的、効果的な行政運営

良好な住環境の整備と税収確保の観点から、引き続き、知立駅周辺や山町山の土地区画整理事業の推進を始め、鳥居地区、蔵福寺地区における土地区画整理事業を推進していく他、再開発事業として駅北再開発事業と共に、西新地の再開発事業も推進してまいります。

また、国の補助金や交付金など特定財源を可能な限り各種事業に充当していくよう、全庁的に取り組んでいく他、ふるさと応援寄附金制度や行政財産の有効活用を図るなどし、税以外の財源確保に努めます。

また、コンビニエンスストアでの証明書の発行事業を着実に進めます。

◆おわりに

目に見えるサービスはもちろん、丁寧な対応や明るいあいさつなどの目に見えないサービスの提供も続けていきます。

行政改革の不断の実行や情報公開を行いながら、皆様に幸せや喜びを見つけていただける環境づくりのため、諸施策を推進してまいります。